開催月日　：令和5年 3月30日（木）					
第2回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護介護・医療連携推進会議 議事録					
司 会		書 記	清水 健一		

2022年度 第2回介護医療連携推進会議について

新型コロナウイルス感染拡大防止の為書面開催による代替え措置を行うこととした。

1. 運営状況

別紙の通り、令和4年9月～令和5年2月までの運営状況報告を行う。

12月からコール件数が増えて、1月には177回となっていますが、出動については1回のみであり、コール内容としてはほとんどが

同利用者の入院から帰宅後の不安からくるコールとなっております。12月中旬の帰宅から1月にかけてピークを迎えておりましたが、徐々に落ち着き

2月にはコール件数が減っております。

2. 新型コロナ感染対策

介護士の出勤前の検温と体調の確認を行い報告の徹底する

常時のマスクとフェイスシールド着用、利用者様にも対応時はマスクの着用をお願いする。

利用者様宅ではサービス開始前に室内換気の実施、手洗いとアルコール消毒の徹底

事業所内は、入り口にアルコールの設置を行い入退室時に消毒の実施

感染者が出た場合は、社内コロナ観戦対策本部への報告し保健所の指示を仰いで対応

令和5年3月以降も基本的には対策に変更はなしだが、利用者のマスク着用については任意とする。

3. 自己評価外部評価について

以下ご意見をいただきました。

・月1回のモニタリングは報告いただいているが、それ以外の報告が少ないように感じているためケアマネジャーとの連携をお願いしたい。

・スタッフに女性がいないと聞いているが育成をお願いしたい。

・管理者から担当スタッフへの指示が伝わっていないように感じている。

・薬の変更などの連絡が共有されないことが多い。安心しておまかせできるようにして欲しい。

・サービスの概要や効果について、問い合わせると返答いただけるが事業所側からの積極的な周知は少ない。

・最近の連携推進会議の内容が周知されていない。

・看護からの評価や意見からアセスメントしサービスを行っていないように感じている。

・本人の状態に合わせて柔軟にサービスを提供してくれている。

・家族より安心できると高く評価されている。

いろいろなご意見いただきましたが、連携や報告が少ないというご意見が多くありました。

日常の変化に気づきがあればケアマネジャーさんを始め各事業所に報告の徹底や女性の育成を含め本人の状態に合わせたサービスが実施できるよう

指示系統の強化を図って参りたいと考えております。また、ご家族様の安心を頂いてもおり引き続きご本人様はじめ関わってくださる方から信頼

して頂けるようにサービス実施して参ります。